

令和6年度政務活動費収支報告について

令和6年11月27日

四国中央市議会議長 山川 和孝 様

議員氏名 三見繁博

四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、別紙のとおり6年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和6年度政務活動費収支報告書

議員氏名

三宅繁博

1 収入

政務活動費 160,000 円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	80,003 円	島根県雲南市・飯南市視察、愛媛県松山市視察費用
要請陳情活動費	0 円	
広報広聴活動費	0 円	
研修費	0 円	
資料購入費	0 円	

3 残額 79,997 円

備考 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

政務活動費返還申出書

令和6年11月27日

四国中央市長 篠原 実 様

議員氏名 三宅 繁博

令和6年度分として交付を受けた政務活動費について、残余金が生じたので、四国中央市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定により、次のとおり返還を申し上げます。

交付を受けた額	160,000 円
支出した額	80,003 円
返還する額	79,997 円

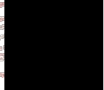
政務活動費出納簿（令和 6 年度）

No. 01

氏 名	三宅 繁博
-----	-------

[illegible]

No. _____

支 出 伝 票													
氏 名	三宅 繁博	印	 										
支出年月日	令和6年 5月 20日 ～ 5月 21日												
支出科目	調査研究費												
金 額	48,449円												
内 容	令和6年5月20日～5月21日 島根県雲南市、飯南町、雲南市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代173,000円÷5人の計算で、1人当たり34,600円。 宿泊費は1人1室11,950円。 手土産は（霧の森大福7箱）9,495円÷5人の計算で、1人当たり1,899円。												
経費算出表													
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>34,600円</td> </tr> <tr> <td>視察料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td>11,950円</td> </tr> <tr> <td>手土産</td> <td>1,899円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>48,449円</td> </tr> </tbody> </table>		旅費	34,600円	視察料	0円	宿泊料	11,950円	手土産	1,899円	合 計	48,449円		
旅費	34,600円												
視察料	0円												
宿泊料	11,950円												
手土産	1,899円												
合 計	48,449円												
※複数の支出項目がある場合に記載													
備 考													

領収書等は裏面に貼付すること

領収証

一新会

様 No.

金額

¥173000-

但

タワシ代として

2024年5月21日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 ¥157,273

消費税額(10%) ¥15,727

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県四国中央市土分町844番

有限会社

代表取締役

TEL 0896

登録番号 T950

登録番号

GAC06023

霧の森
The secret always stands in wait

領収書

Cash receipt

一新会

様

¥9445-

但し 手工産として

上記の金額正に領収致しました。

R6年5月19日

霧の森

〒799-0121

霧の森

〒790-0000

株式会社

中央市新宮町馬立

山店

〒790-0000

tel 0896-72-3111

fax 0896-72-3112

tel 089-934-5567

fax 089-934-5567

no.

手工産 7個

雲南市様 2個

辻野潤様 はじめ飯南町の3名 3個

出雲市様 2個

ご請求明細書
STATEMENT

ドーミーイン出雲
Dormy Inn Izumo
〒693-008 島根県出雲市駅南町1丁目3-3
1-3-3, Eki Minamimachi, Izumo-shi, Shimane-ken
TEL:0853-21-5489 FAX:0853-24-8017
登録番号:T1010001014427

お名前 一新会 様

お部屋番号 80020 ご人数 5
ご到着 2024/05/20 ご出発 2024/05/21

日付	ご明細	部屋番号	料金	お支払等	備考	1
05/20	◇ご宿泊代	from205	11,800			
	◇ご宿泊代	from207	11,800			
	◇ご宿泊代	from209	11,800			
	◇ご宿泊代	from212	11,800			
	◇ご宿泊代	from214	11,800			
	■入湯税	from205	150	*		
	■入湯税	from207	150	*		
	■入湯税	from209	150	*		
	■入湯税	from212	150	*		
	■入湯税	from214	150	*		

ご請求金額 59,750
10%対象 59,000 (消費税 5,363)
◇ この請求書を仕入税額控除の確証としてご利用いただけます 消費税課税対象外 750
■ 消費税課税対象外
◎ その他

発行番号 052014100606 P 1 13 14 A GA AL
24/05/20 21:37 0340994

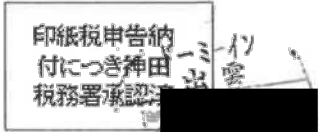
ご署名 一新会

お名前 一新会 様 領収書 2024/05/20 052014100606

金額 ¥59,750-

但し 上記明細通り

上記金額正に領収致しました。



株式会社 共立メンテナンス
〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

視察 • 要請陳情 • 広報広聴 • 研修)
実績 報 告 書

氏名	三宅繁博	印
行先	島根県雲南市、飯南町、出雲市	
用件	雲南市・飯南町：移住者支援、新規就農 出雲市：不登校支援等の視察	
期間	令和6年5月20日（月）から 令和6年5月21日（火）まで	
対応者・講師等	安部千愛様（雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課） 渡部楽平様（雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課） 金築莉那様（雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課 定住企画員） 白築健様（雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課 定住推進員） 小林洋治様（雲南市役所 農林振興部 次長 兼 農業畜産課長） 辻野潤様（大阪府から飯南町に移住。生姜、トマト、豆類の営農資格者） 中野良介様（兵庫県から飯南町に移住。中野あおぞら農園 農園長） 田淵裕希様（和歌山県から飯南町に移住。中野あおぞら農園の営農実習生） 山崎創様（出雲市教育委員会 教育部次長 兼 児童生徒支援課長） 小林剛様（出雲市教育委員会 児童生徒支援課 課長補佐）	
報告内容		
【別紙報告書のとおり】		

行政調査報告書

1

一	新	会								氏	名		三	宅		繁	博		
5	月	20	日	か	ら	21	日	で	、	雲	南	市	・	飯	南	町	・	出	
雲	市	で	行	政	調	査	を	行	っ	た	。								
①	移	住	・	定	住	の	取	り	組	み	に	つ	い	て	は	雲	南	市	政
策	企	画	部	う	ん	な	ん	暮	ら	し	推	進	課	で	、	定	住	支	
援	ス	タ	ッ	フ	の	配	置	と	、	空	き	家	バ	ン	ク	制	度	の	
活	用	に	つ	い	て	行	政	調	査	を	行	っ	た	。					
雲	南	市	は	、	「	住	み	た	い	田	舎	」	ベ	ス	ト	ラ	ン	キ	ン
グ	に	お	い	て	、	人	口	3	万	人	以	上	5	万	人	未	満	の	市
部	門	の	「	若	者	世	代	・	単	身	者	」	で	全	国	第	1	位	に
選	ば	れ	て	い	る	。													
近	年	、	人	口	動	態	が	改	善	傾	向	に	あ	り	、	令	和	4	
年	・	5	年	は	20	代	、	30	代	の	転	入	が	増	加	し	て	い	る
そ	の	結	果	の	一	因	と	な	っ	て	い	る	の	が	、	定	住	支	
援	ス	タ	ッ	フ	(	定	住	企	画	員	2	名	と	定	住	推	進	員	1
名	)	の	配	置	で	あ	る	。											
定	住	支	援	ス	タ	ッ	フ	は	人	材	を	呼	込	む	企	画	と	情	
報	発	信	、	移	住	・	定	住	の	相	談	、	定	住	後	の	生	活	サ
ポ	ー	ト	、	空	き	家	バ	ン	ク	の	運	営	等	を	総	合	的	に	行
っ	て	お	り	、	社	交	性	の	高	い	若	手	職	員	を	抜	擢	し	て



2



3



行政調査報告書

4

ム	の	オー	ダー	メ	イド	実	施	、	U	I	タ	ー	ン	者	交	流				
会	の	実	施	、	結	婚	支	援	な	ど	、	多	く	の	施	策	を	展	開	
し	て	い	た	が	、	そ	の	施	策	の	本	気	度	に	加	え	て	、	定	
住	支	援	ス	タ	ッ	フ	が	一	生	懸	命	サ	ポ	ー	ト	し	て	く	れ	
て	い	る	こ	と	が	、	成	果	に	つ	な	が	っ	て	い	る	の	だ	と	
実	感	し	た	。																
②	新	規	就	農	の	取	り	組	み	に	つ	い	て	は	、	雲	南	市	農	
	林	振	興	部	農	業	畜	産	課	で	行	政	調	査	を	行	っ	た	。	
	雲	南	市	で	は	、	研	修	・	就	農	・	定	住	の	3	つ	を	就	
農	サ	ポ	ー	ト	事	業	と	し	て	展	開	し	、	農	業	研	修	生	を	
募	集	し	て	い	る	。														
	満	18	歳	か	ら	50	歳	ま	で	を	対	象	と	し	て	、	自	営	就	
農	・	雇	用	就	農	と	も	に	2	年	間	の	研	修	期	間	を	用	意	
し	、	生	活	支	援	金	月	額	12	万	円	（	雇	用	就	農	の	場	合	
は	2	年	目	月	額	8	万	円	）	を	支	給	し	な	が	ら	充	実	し	
た	研	修	を	受	け	る	こ	と	が	で	き	る	。							
	新	規	就	農	者	が	農	地	や	ハ	ウ	ス	を	確	保	す	る	際	も	
研	修	先	の	指	導	者	（	月	額	3	万	円	支	給	）	を	頼	り	、	
の	れ	ん	分	け	し	た	り	、	農	業	委	員	会	を	通	じ	て	、	農	



行政調査報告書

5

業	を	辞	め	る	方	の	物	件	を	あ	っ	せ	ん	し	て	も	ら	っ	た
り	で	き	る	仕	組	み	が	機	能	し	て	い	る	様	子	だ	っ	た	。
実	績	と	し	て	は	、	令	和	元	年	以	降	毎	年	研	修	生	を	
2	人	ず	つ	受	け	入	れ	て	お	り	、	令	和	5	年	は	5	名	の
受	け	入	れ	と	な	っ	て	い	る	。	内	訳	と	し	て	は	、	自	営
就	農	12	名	、	雇	用	就	農	1	名	と	自	営	就	農	に	多	く	つ
な	が	っ	て	い	た	。													
四	国	中	央	市	で	も	農	家	の	高	齢	化	が	進	み	、	耕	作	
放	棄	地	が	多	く	な	っ	て	き	て	い	る	が	、	こ	う	い	っ	た
仕	組	み	を	運	用	し	、	若	手	の	就	農	者	を	増	や	す	取	り
組	み	も	必	要	だ	と	感	じ	た	。									
新	規	就	農	に	つ	い	て	は	、	実	際	に	新	規	就	農	し	て	
働	い	て	い	る	方	々	の	声	も	聞	き	た	い	と	い	う	こ	と	で
雲	南	市	の	隣	に	あ	る	、	飯	南	町	に	お	伺	い	し	た	。	
飯	南	町	も	新	規	就	農	に	つ	い	て	、	充	実	し	た	取	り	
組	み	を	さ	れ	て	お	り	、	今	回	は	大	阪	府	か	ら	移	住	し
て	生	姜	等	の	営	農	資	格	者	で	あ	る	辻	野	さ	ん	、	兵	庫
県	か	ら	移	住	し	て	中	野	あ	お	ぞ	ら	農	園	の	農	園	長	を
さ	れ	て	い	る	中	野	さ	ん	、	和	歌	山	県	か	ら	移	住	し	て



行政調査報告書

6

中	野	あ	お	ぞ	ら	農	園	で	営	農	実	習	生	を	し	て	い	る	田
淵	さ	ん	に	現	地	を	見	せ	て	い	た	だ	き	、	話	を	聞	い	た
50	代	の	辻	野	さ	ん	は	、	前	職	で	飯	南	町	に	来	る	機	
会	が	何	度	か	あ	り	、	知	人	の	勧	め	で	就	農	を	行	う	こ
と	と	な	っ	た	。	今	で	は	中	野	さ	ん	、	田	淵	さ	ん	含	め
多	く	の	就	農	仲	間	の	リ	ー	ダ	ー	に	な	っ	て	い	る	様	子
で	あ	っ	た	。															
40	代	の	中	野	さ	ん	は	会	社	の	都	合	に	縛	ら	れ	る	都	
会	で	の	サ	ラ	リ	ー	マ	ン	生	活	を	続	け	る	こ	と	に	疑	問
を	感	じ	て	い	る	頃	、	「	い	っ	か	は	田	舎	で	自	給	自	足
の	生	活	を	し	た	い	」	と	言	っ	て	い	た	妻	・	晴	美	さ	ん
の	言	葉	か	ら	移	住	候	補	地	選	び	を	行	っ	た	。	イ	ン	タ
ー	ネ	ッ	ト	で	探	し	て	目	に	留	ま	っ	た	の	が	飯	南	町	。
空	き	家	を	活	用	し	た	定	住	促	進	住	宅	が	整	備	さ	れ	、
農	林	業	に	就	い	て	定	住	を	目	指	す	人	へ	の	研	修	・	支
援	な	ど	も	手	厚	か	っ	た	。	何	度	も	足	を	運	ぶ	う	ち	に
田	舎	ら	し	い	環	境	と	市	職	員	の	熱	意	が	後	押	し	と	な
り	、	夫	婦	で	I	タ	ー	ン	就	農	を	決	め	た	と	の	こ	と	。
30	代	の	田	淵	さ	ん	は	、	美	容	師	と	し	て	働	い	て	い	
た	が	、	ず	っ	と	農	業	に	興	味	を	持	っ	て	お	り	、	一	念



行政調査報告書

7

発	起	で	就	農	の	研	修	制	度	が	手	厚	い	飯	南	町	に	来	た	。
田	淵	さ	ん	の	和	歌	山	の	実	家	は	稲	作	の	農	家	だ	が	、	
稲	作	で	は	な	い	作	物	を	や	り	た	い	と	い	う	想	い	で	た	
ど	り	着	い	た	の	が	飯	南	町	だ	っ	た	。	来	年	か	ら	は	研	
修	期	間	が	終	わ	り	、	パ	プ	リ	カ	生	産	者	と	し	て	活	動	
し	て	い	く	予	定	で	あ	る	。											
こ	の	よ	う	に	、	地	理	的	に	有	利	と	は	い	え	な	い	飯		
南	町	で	あ	っ	て	も	、	研	修	制	度	や	定	住	支	援	を	充	実	
さ	せ	、	イ	ン	タ	ー	ネ	ッ	ト	等	で	PR	す	る	こ	と	で	、	都	
会	か	ら	就	農	希	望	者	が	来	て	い	る	と	い	う	こ	と	が	分	
か	っ	た	。	四	国	中	央	市	で	も	同	様	の	施	策	を	行	う	こ	
と	で	、	若	手	の	就	農	希	望	者	が	移	住	し	て	く	る	可	能	
性	は	あ	る	と	感	じ	た	。												
③	不	登	校	対	策	に	つ	い	て	は	、	出	雲	市	教	育	委	員	会	
児	童	生	徒	支	援	課	で	、	不	登	校	対	策	指	針	に	つ	い		
て	行	政	調	査	を	行	っ	た	。											
出	雲	市	で	は	小	学	校	34	校	(	分	校	含	む	)	9663	人	、		
中	学	校	15	校	(	分	校	含	む	)	4786	人	が	い	る	が	、	不		
登	校	児	童	生	徒	数	は	、	小	学	校	220	人	(	2.3	%	)	、	中	学



8

9

校	は	全	15	校	に	設	置	し	て	い	る	そ	う	で	、	市	独	自	の
予	算	で	不	登	校	相	談	員	を	配	置	し	て	い	る	。	(	小	学
校	に	つ	い	て	は	半	分	県	負	担	)								

四 国 中 央 市 で は 、 県 の 事 業 と し て 川 之 江 北
中 学 校 で サ ポ ー ト ル ー ム が 導 入 さ れ て い る が 、
出 雲 市 で は 、 県 の 動 き を 待 つ の で は な く 、 市
単 独 で 行 っ て い る こ と が 素 晴 ら し い と 感 じ た 。

教	員	を	配	置	す	る	の	で	は	な	く	、	会	計	年	度	任	用	
職	員	を	配	置	す	る	こ	と	で	、	小	中	学	校	合	わ	せ	て	約
2500	万	円	の	予	算	で	運	営	を	行	え	て	い	る	。	こ	の	予	
算	で	、	学	校	内	に	安	心	で	き	る	居	場	所	が	で	き	る	の
で	、	四	国	中	央	市	で	も	前	向	き	に	導	入	を	検	討	す	る
の	が	よ	い	の	で	は	と	感	じ	た	。								

以上

No. _____

支 出 伝 票													
氏 名	三宅 繁博	印											
支出年月日	令和6年 7月 18日 ～ 7月 19日												
支出科目	調査研究費												
金 額	31,554円												
内 容	令和6年7月18日～7月19日 松山市への行政視察に係る経費 旅費はタクシー代94,780円÷5人の計算で、1人当たり18,956円。 宿泊費は1人1室11,550円。 手土産は（いわくら太鼓2箱、ひうち焼2箱）5,240円÷5人の計算で、1人当たり1,048円。												
経費算出表 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>18,956円</td> </tr> <tr> <td>視察料</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td>11,550円</td> </tr> <tr> <td>手土産</td> <td>1,048円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31,554円</td> </tr> </tbody> </table> ※複数の支出項目がある場合に記載				旅費	18,956円	視察料	0円	宿泊料	11,550円	手土産	1,048円	合 計	31,554円
旅費	18,956円												
視察料	0円												
宿泊料	11,550円												
手土産	1,048円												
合 計	31,554円												
備 考													

領収書等は裏面に貼付すること

領収証

一新会

様

No.

金額

¥94780-

但

2024年7月19日

上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 ¥8616.4

消費税額(10%) ¥861.6

税抜金額

消費税額(%)

〒799-0121 愛媛県四国中央市上分町344-1

有限会社

代表取締役

TEL 0896

登録番号 T9500002022339

登録番号

GR096923

お名前

一新会

領収書

様

2024/07/18 071803104310

金額

¥57,750-

但し

ご宿泊代として

上記金額正に領収致しました。

印紙税申告納
付につき神田
税務署承認済

24.7.18

株式会社 共立メンテナンス

〒101-8621 東京都千代田区外神田2丁目18番8号

領収証

様

¥5,240-

但し、食料品及びその他商品代金として
うち、外税 8%対象額 4,852円 外税額 388円
上記正に領収いたしました 売上レシートNo:9612

株式会社フジ フジ四国中央店
TEL : 0896 - 49 - 1011

※財布等に入れ保管頂く場合、印刷面を内側に折り返し保管してください。株式会社フジ 登録番号

No. 0201-0921-9612
2024年07月18日
[担当:鈴木]

T9500001003505

手土産 4個 (いわくら太鼓2個、ひらちん焼2個)

愛媛県教育委員会事務局 指導部 高校教育課様 2個

株式会社 ISEKI M&D 様 2個

[illegible]

行政調査報告書

1

一新会								氏名	三宅	繁博
今回の視察では、①県立高校の再編について、②農業の歴史と未来についての2つのテーマについて学んだ。										
①県立高校の再編については、愛媛県教育委員会事務局 指導部 高校教育課にお伺いし、県立高校の再編計画や、松山南高校砥部分校の存続の経緯、四国中央市の高校再編についての考えを聞くことができた。										
県が出している再編整備基準によると、川之江高校、三島高校、土居高校の3校については、3学級以上の学校にあたり、3校ともに「入学生が80人以下の状況が3年続き、その後も増える見込みがない場合は、募集停止を行う。ただし、魅力化推進校として認定する場合を除く。」とある。										
令和6年度の合格者は川之江高校174名（200名定員）、三島高校普通科215名（240名定員）、三島高校商業科36名（40名定員）、土居高校普通科68名（120名定員）となっており、現状では、										



行政調査報告書

3

元	年	～	令	和	3	年	の	卒	業	生	の	進	路	は	69	%	が	市	内
の	県	立	高	校	と	な	っ	て	お	り	、	そ	の	比	率	は	年	々	低
く	な	っ	て	い	る	。													
	15	年	後	を	考	え	た	と	き	に	は	、	中	学	校	で	市	外	進
学	す	る	な	ど	の	要	因	で	、	中	学	3	年	生	の	生	徒	数	は
約	400	名	、	そ	の	60	%	が	市	内	の	県	立	高	校	に	進	学	す
る	と	推	測	す	る	と	、	約	240	名	(	6	ク	ラ	ス	)	と	い	う
数	字	が	出	て	く	る	。												
	三	島	高	校	、	川	之	江	高	校	に	し	て	も	、	普	通	科	中
心	で	進	学	実	績	も	下	降	気	味	で	あ	る	中	、	学	校	長	権
限	で	行	う	こ	と	が	で	き	る	、	「	コ	ー	ス	」	等	の	新	設
だ	け	で	は	市	内	の	生	徒	に	選	ば	れ	る	高	校	に	な	る	の
が	難	し	い	と	考	え	る	。	愛	媛	県	教	育	委	員	会	の	承	認
が	必	要	な	「	科	」	の	新	設	や	キ	ャ	リ	ア	教	育	の	積	極
的	導	入	等	、	産	業	界	や	中	学	生	の	ニ	ー	ズ	に	沿	っ	た
学	校	づ	く	り	へ	の	改	革	が	必	要	だ	と	感	じ	た	。		
	一	案	と	し	て	、	大	胆	に	市	内	1	校	に	し	て	、	選	抜
以	上	に	進	学	に	特	化	し	た	特	進	ク	ラ	ス	や	就	職	に	特
化	し	た	工	業	科	を	配	置	し	た	り	、	校	則	の	大	幅	見	直
し	を	し	た	り	す	る	な	ど	し	て	、	一	気	に	魅	力	的	な	高



行政調査報告書

4

校	づ	く	り	着	手	す	る	と	い	う	手	も	あ	る	と	考	え	る	。
一	方	、	今	回	の	愛	媛	県	県	立	学	校	振	興	計	画	の	中	
で	、	松	山	南	高	校	砥	部	分	校	が	存	続	す	る	こ	と	に	な
っ	た	が	、	「	砥	部	分	校	存	続	の	会	」	等	か	ら	、	砥	部
分	校	存	続	案	が	提	出	さ	れ	た	こ	と	が	転	換	期	と	な	っ
た	そ	う	で	あ	る	。													
こ	の	存	続	案	で	は	、	計	画	案	の	策	定	過	程	で	想	定	
し	得	な	か	っ	た	砥	部	町	か	ら	の	支	援	や	民	間	企	業	と
の	連	携	な	ど	、	砥	部	分	校	の	存	続	に	向	け	た	具	体	的
方	策	が	明	確	に	示	さ	れ	、	町	と	企	業	か	ら	も	そ	の	存
続	案	へ	の	協	力	が	示	さ	れ	た	。								
例	え	ば	、	砥	部	町	は	「	遠	距	離	で	通	学	で	き	な	い	
生	徒	の	た	め	の	家	賃	補	助	」	「	全	国	か	ら	生	徒	を	募
集	す	る	た	め	の	活	動	費	補	助	」	で	支	援	を	、	存	続	の
会	な	ど	地	域	住	民	は	「	親	元	を	離	れ	て	暮	ら	す	生	徒
へ	の	生	活	見	守	り	」	で	支	援	を	、	広	告	デ	ザ	イ	ン	企
業	は	「	校	内	へ	の	サ	テ	ラ	イ	ト	オ	フ	ィ	ス	開	設	」	と
「	ゲ	ー	ム	ク	リ	エ	ー	シ	ョ	ン	コ	ー	ス	に	お	け	る	専	門
技	術	指	導	」	等	の	支	援	が	示	さ	れ	て	い	る	。			
そ	う	い	っ	た	「	実	現	可	能	で	、	子	ど	も	達	に	と	っ	



行政調査報告書

5

て	有	益	と	な	る	具	体	的	方	策	案	」	を	提	示	で	き	た	こ
と	が	、	存	続	に	つ	な	が	っ	た	と	の	こ	と	で	あ	る	。	
	存	続	が	決	ま	っ	た	今	、	砥	部	町	は	全	国	か	ら	の	生
徒	募	集	の	為	、	建	設	費	8	億	円	の	寮	の	建	設	を	計	画
し	、	さ	ら	に	魅	力	的	な	高	校	づ	く	り	に	邁	進	し	て	い
る	。																		
	四	国	中	央	市	で	も	、	3	校	を	存	続	さ	せ	る	の	で	あ
れ	ば	、	「	実	現	可	能	で	、	子	ど	も	達	に	と	っ	て	有	益
と	な	る	具	体	的	方	策	案	」	を	提	示	で	き	る	よ	う	に	準
備	を	し	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	。	2	校	や	1	校	に	再	編
し	て	い	く	に	し	て	も	、	い	か	に	魅	力	的	な	高	校	づ	く
り	を	行	っ	て	い	く	か	は	考	え	て	い	か	な	け	れ	ば	な	ら
な	い	。																	
	い	ず	れ	に	せ	よ	、	愛	媛	県	県	立	学	校	振	興	計	画	の
後	期	計	画	に	着	手	し	始	め	る	令	和	8	年	度	に	は	地	域
協	議	会	等	が	行	わ	れ	、	地	域	の	声	を	聴	く	機	会	を	作
る	そ	う	で	あ	る	。	そ	の	頃	に	は	、	首	長	の	決	断	が	重
要	な	も	の	と	な	る	こ	と	は	間	違	い	な	い	。	次	の	市	長
選	挙	は	そ	う	い	っ	た	意	味	で	も	大	変	重	要	な	機	会	に
な	る	と	感	じ	た	。													



6



7

行政調査報告書

8

理	サ	ポ	ー	ト	や	機	械	管	理	サ	ポ	ー	ト	を	行	え	る	よ	う
に	進	化	し	て	い	る	こ	と	が	理	解	で	き	た	。				
	そ	し	て	、	ISEKI	ド	リ	ー	ム	パ	イ	ロ	ッ	ト	シ	リ	ー	ズ	
の	製	品	で	は	、	GNSS	(	全	球	測	位	衛	星	シ	ス	テ	ム	)	を
活	用	し	た	自	動	操	舵	技	術	に	よ	り	、	オ	ペ	レ	ー	タ	が
監	視	・	遠	隔	操	作	す	る	こ	と	で	、	安	全	性	を	確	保	し
な	が	ら	ト	ラ	ク	タ	に	よ	る	無	人	作	業	が	可	能	に	な	っ
て	い	た	。																
	未	来	の	技	術	だ	と	思	っ	て	い	た	こ	と	が	、	実	現	で
き	て	い	る	こ	と	に	驚	き	を	隠	せ	な	か	っ	た	。	こ	う	い
っ	た	最	新	技	術	が	高	齢	化	や	少	人	数	化	、	大	規	模	化
の	中	で	の	農	業	を	支	え	て	い	く	こ	と	が	イ	メ	ー	ジ	で
き	、	大	変	勉	強	に	な	っ	た	。									
	こ	こ	ま	で	、	2	つ	の	内	容	に	沿	っ	て	視	察	の	報	告
を	記	入	し	た	が	、	ど	ち	ら	の	内	容	の	濃	い	視	察	と	な
っ	た	。	今	回	得	た	知	識	・	経	験	を	政	治	活	動	の	場	で
も	活	か	し	、	四	国	中	央	市	が	よ	り	魅	力	的	な	街	に	な
っ	て	い	け	る	よ	う	、	動	い	て	い	く	。						

